

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 美里町

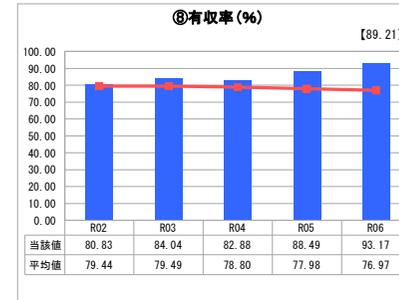
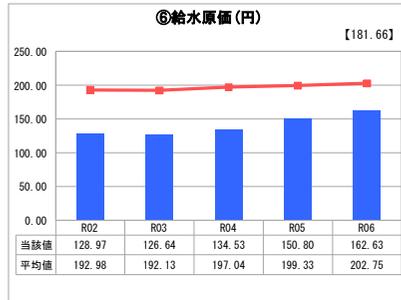
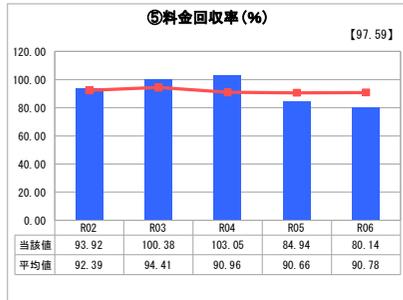
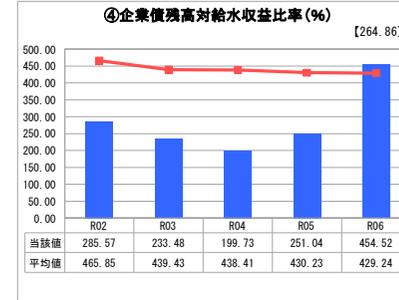
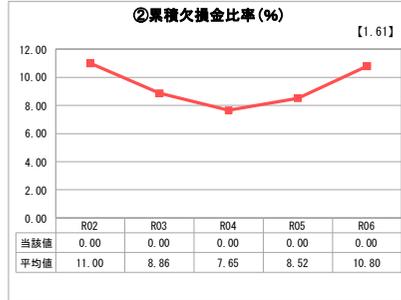
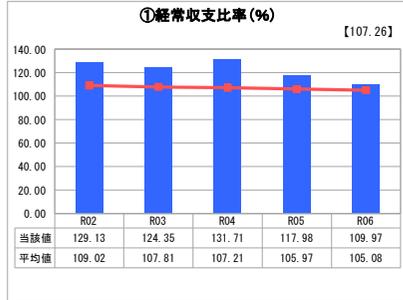
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	61.23	99.60	2,567	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,685	33.41	319.81
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,594	32.84	322.59

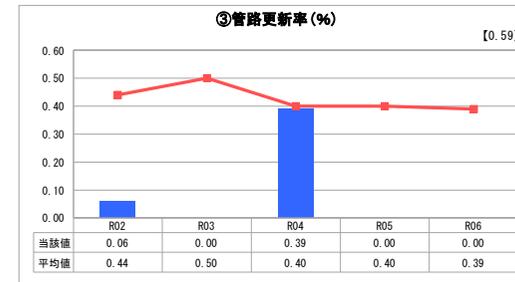
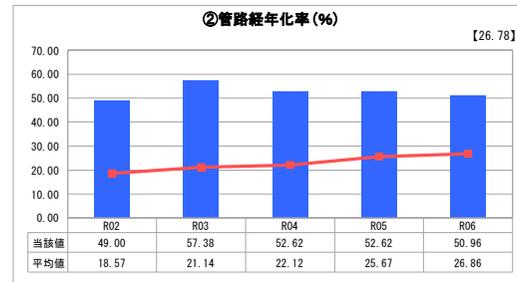
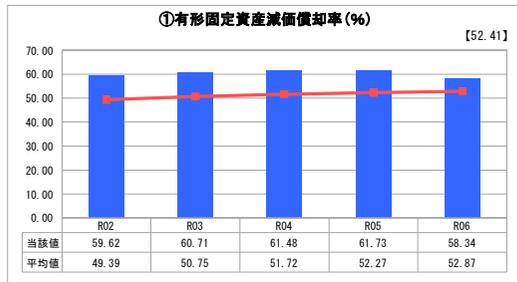
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率**  
人件費や委託料等の増加により約8ポイント減少した。100%を超えているが、一般会計からの繰入金で費用を賄っているため、翌年度の料金改定によって経営の健全化を図る。
- ②流動比率**  
100%を上回ってはいるが、工事の未払金を計上しているため減少が続いている。財源を確保し計画的に工事を実施する。
- ③企業債残高対給水収益比率**  
類似団体平均に比べ高い水準。工事のための借入が増加したことや、基本料金減免による給水収益の減収が影響し、前年よりも増加した。
- ④料金回収率**  
基本料金減免を行ったことで供給単価が低くなった。一般会計繰入金で給水に係る費用が随われていたため、料金改定によって100%以上の回収率を目指す。
- ⑤給水原価**  
委託料等の費用の増加により上昇したが、類似団体平均よりも低い値を維持している。
- ⑦施設利用率**  
1日平均配水量が減少したため、昨年度に比べ施設利用率は減少しているが類似団体平均と同等の値である。
- ⑧有収率**  
漏水調査等により、無収水量が減少した。今後も漏水調査や計画的な更新工事を実施し、有収率の上昇に努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率**  
財源と人員の不足によって施設や管路の更新が遅れ、法定耐用年数に近い固定資産が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、施設や管路の更新を実施する必要がある。
- ②管路経年劣化率**  
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れ、法定耐用年数を経過した管路が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、管路の更新を実施する必要がある。
- ③管路更新率**  
複数年に分けて管路工事を実施しており、全てが完了するまで未供用管となっているため更新率が低い。美里町水道ビジョンに沿った管路の更新を進める必要がある。

### 全体総括

経常収支比率は類似団体平均と同程度だが、料金回収率は平均を下回った。これは基本料金減免の影響ではあるが、依然として一般会計からの繰入金に依存している状況のため、翌年度の料金改定によって経営の健全性・効率性の適正化に努める。

管路の老朽化については、類似団体平均値と比べて進んでいる状況だった。

複数年に渡り実施していた管路工事があり、翌年度に供用開始される管路があるため管路更新率は改善される予定である。

引き続き美里町水道ビジョンに沿った施設及び管路の更新を実施していく。